

年 組 名前：

問1

東京・杉並区立中央図書館に銅像があるマハトマ・ガンジーは、インドの何と呼ばれているでしょうか。

.....

問2

銅像の傍らには、ガンジーが挙げた「七つの大罪」の碑があります。七つの大罪を書いてください。

「 」 「 」
 「 」 「 」
 「 」 「 」
 「 」 「 」
 「 」 「 」

問3

筆者は「七つの大罪は現在の世界にも当てはまるようだ」と言っています。あなたは、どんな点が今に通じると思いますか。

.....

東京・荻窪の杉並区立中央図書館に、簡素な布を身にまとい、つえを手にして歩く姿で表された「インド独立の父」マハトマ・ガンジー（1869～1948年）の銅像がある。ガンジー修養所再建財団から杉並区に贈ら

れ、2009年に建立された。民間団体の「杉並区日印交流協会」が同財団に寄付をしたのがきっかけという。

銅像のある風景 ⑤

「七つの大罪」今に通じる

傍らにある碑に目をやると、ガンジーの挙げた「七つの大罪」が列記されていた。「汗なしに得た財産」「良心を忘れた快楽」「人格が不在の知識」「道徳心を欠いた商売」「人間性をと尊ばない科学」「自己犠牲をともなわない信心」「原則なき政治。どうやら、全て現在の世界にも当てはまる項目のよう

英国紳士風に装い、帰国後は伝統的な民族服も着ていたが、50代初めの頃から貧しい人々と同じような身なりをすることに心を決め、以後は常にその服装で通じた。

ガンジーは英国に留学して弁護士資格を取得。南アフリカに渡って働いていた時、インド人への差別に対する反対運動に関わり、帰国後は非暴力・不服従主義を掲げて英国からの独立運動を主導した。民衆から厚く慕われたが、独立直後に暗殺された。（松本泰樹・共同通信記者）



同図書館は2020年に改修された。像が立つ屋外スペースには、ウッドデッキに椅子やテーブルを置き、緑の中で読書や食事を楽しめる「本の広場」が設けられている。眼鏡の奥から静かに前方を見つめるガンジー翁は、周囲の開放的な雰囲気ですっきり溶け込んでいる。



(2021年7月30日付 山梨日日新聞 21面)